津 市 監 第 ４ ８ 号
令和８年１０月２２日

津市長　前　葉　泰　幸　様

津市監査委員　嶌　田　光　伸
津市監査委員　安　井　広　伸
津市監査委員　片　山　　光
津市監査委員　伊　藤　哲　也

令和７年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第２項の規定に基づき審査に付された下記の令和７年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和２年津市監査委員告示第３号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

１　令和７年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
２　令和７年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
３　令和７年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

令 和 7 年 度

榊 原 財 産 区 会 計

歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

## 凡　　例

1　文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。

2　文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

3　文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立法メートル未満を四捨五入した。

4　上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。

5　表中の符号の用法は、次のとおりである。

「0」「0.0」・・・零又は単位未満のもの

「－」・・・・・・比率において、±1,000％以上のもの、該当数値のないもの、又は算出不能なもの

「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

# 令和７年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第１　審査の対象

令和７年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第２　審査の期間

令和８年９月４日から同年10月20日までである。

第３　審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

１　決算の計数は、正確に表示されているか。

２　決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。

３　予算は、適正に執行されているか。

第４　審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

１　歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,303万4千円（表１参照）、歳出決算額は2,253万1千円（表２参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

（１）歳　入

歳入の内訳は表１のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,241万6千円である。

表１　歳入内訳表　（単位:千円・%）

| 区分 / 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金額 | 構成比 | 予算比 | | | | |
| 財産収入 | 22,412 | 22,416 | 97.3 | 100.0 | 22,892 | 89.6 | △ 476 | △ 2.1 |
| 繰入金 | 0 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | 0 | - |
| 繰越金 | 601 | 602 | 2.6 | 100.2 | 2,654 | 10.4 | △ 2,052 | △ 77.3 |
| 諸収入 | 5 | 16 | 0.1 | 320.0 | 2 | 0.0 | 14 | 700.0 |
| 計 | 23,018 | 23,034 | 100.0 | 100.1 | 25,547 | 100.0 | △ 2,513 | △ 9.8 |

（2）歳　出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 1,979 万 8 千円、議会費 173 万 9 千円である。

表 2　歳出内訳表　（単位：千円・%）

| 区分 ＼ 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金　額 | 構成比 | 執行率 | | | | |
| 議　会　費 | 1,751 | 1,739 | 7.7 | 99.3 | 1,733 | 6.9 | 6 | 0.3 |
| 総　務　費 | 247 | 217 | 1.0 | 87.9 | 215 | 0.9 | 2 | 0.9 |
| 財　産　費 | 20,213 | 19,798 | 87.9 | 97.9 | 19,279 | 77.3 | 519 | 2.7 |
| 積　立　金 | 377 | 377 | 1.7 | 100.0 | 3,329 | 13.3 | △ 2,952 | △ 88.7 |
| 諸 支 出 金 | 400 | 400 | 1.8 | 100.0 | 390 | 1.6 | 10 | 2.6 |
| 予　備　費 | 30 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | － |
| 計 | 23,018 | 22,531 | 100.0 | 97.9 | 24,946 | 100.0 | △ 2,415 | △ 9.7 |

2　財産に関する調書

財産の令和 7 年度中の増減高及び令和 7 年度末現在高は、次のとおりである。

（1）公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 7 年度末現在高は 1,226 万 3,927 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 7 年度中に 1,052 立方メートル増加し、令和 7 年度末現在高は 13 万 9,127 立方メートルである。

出資による権利については、令和 7 年度中の増減はなく、令和 7 年度末現在高は 84 万円である。

表 3　公有財産の状況

| 区　分 | | | 単位 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 土地 | 公共用財産(その他の施設) | | ㎡ | 918 | 0 | 918 |
| | 山林 | 直　営 | ㎡ | 2,479,936 | 57,546 | 2,537,482 |
| | | 貸　付 | ㎡ | 9,783,072 | △ 57,546 | 9,725,526 |
| | 合　計 | | ㎡ | 12,263,927 | 0 | 12,263,927 |
| 立木の推定蓄積量 | | | ㎥ | 138,075 | 1,052 | 139,127 |
| 出資による権利 | | | 千円 | 840 | 0 | 840 |

（2）物　品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり令和 7 年度中に増減はなく、令和 7 年度末現在高は 2 台である。

表４　物品の状況　　（単位：台）

| 区　　分 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|
| 軽　貨　物　自　動　車 | 2 | 0 | 2 |

（３）基　金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表５のとおり令和７年度中に 37 万７千円増加し、令和７年度末現在高は 4,060 万１千円である。

表５　基金の状況　　（単位：千円）

| 区　　分 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|
| 榊 原 財 産 区 財 政 調 整 基 金 | 40,224 | 377 | 40,601 |

３　まとめ

令和７年度決算の状況を見ると、土地の貸付面積は減少したものの、安定した土地貸付収入を基に、財政調整基金残高も増加しており、持続可能な財政運営を堅持している。

引き続き、計画的な森林区画の確認、林道整備等を進めるなど、森林資源の適正な管理に努められたい。

# 令 和 7 年 度

# 河 内 財 産 区 会 計
# 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

## 凡　　例

1　文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。

2　文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

3　文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立法メートル未満を四捨五入した。

4　上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。

5　表中の符号の用法は、次のとおりである。

「0」「0.0」・・・零又は単位未満のもの

「－」・・・・・・比率において、±1,000％以上のもの、該当数値のないもの、又は算出不能なもの

「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

# 令和７年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第１　審査の対象

令和 7 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第２　審査の期間

令和８年９月４日から同年 10 月 20 日までである。

第３　審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

１　決算の計数は、正確に表示されているか。

２　決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。

３　予算は、適正に執行されているか。

第４　審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

１　歳入歳出決算の状況

歳入決算額は505万８千円（表１参照）、歳出決算額は498万７千円（表２参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

（１）歳　入

歳入の内訳は表１のとおりで、決算額の主なものは、諸収入 475 万 1 千円、繰入金 24 万 3 千円である。

表１　歳入内訳表　（単位：千円・％）

| 区分 / 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金 額 | 構成比 | 予算比 | | | | |
| 財 産 収 入 | 7 | 6 | 0.1 | 85.7 | 2 | 0.6 | 4 | 200.0 |
| 繰　入　金 | 247 | 243 | 4.8 | 98.4 | 303 | 90.4 | △ 60 | △ 19.8 |
| 繰　越　金 | 30 | 58 | 1.1 | 193.3 | 30 | 9.0 | 28 | 93.3 |
| 諸　収　入 | 4,752 | 4,751 | 93.9 | 100.0 | 0 | 0.0 | 4,751 | - |
| 計 | 5,036 | 5,058 | 100.0 | 100.4 | 335 | 100.0 | 4,723 | - |

（2）歳　出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、基金積立金 475 万 7 千円、議会費 20 万 7 千円である。

表 2　歳出内訳表　（単位：千円・%）

| 区分 / 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金　額 | 構成比 | 執行率 | | | | |
| 議　会　費 | 208 | 207 | 4.2 | 99.5 | 202 | 72.9 | 5 | 2.5 |
| 総　務　費 | 30 | 2 | 0.0 | 6.7 | 55 | 19.9 | △ 53 | △ 96.4 |
| 財　産　費 | 30 | 20 | 0.4 | 66.7 | 18 | 6.5 | 2 | 11.1 |
| 基金積立金 | 4,758 | 4,757 | 95.4 | 100.0 | 2 | 0.7 | 4,755 | - |
| 予　備　費 | 10 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | - |
| 計 | 5,036 | 4,987 | 100.0 | 99.0 | 277 | 100.0 | 4,710 | - |

2　財産に関する調書

財産の令和 7 年度中の増減高及び令和 7 年度末現在高は、次のとおりである。

（1）公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和 7 年度末現在高は、土地が 13 万 278 平方メートル、建物が木造 1 棟 63 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 7 年度中に 349 立方メートル増加し、令和 7 年度末現在高は 2 万 5,539 立方メートルである。

表 3　公有財産の状況

| 区　分 | | 単位 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土地 | 山　林 | ㎡ | 130,278 | 0 | 130,278 |
| 建物 | 河内公民館 | ㎡ | 63 | 0 | 63 |
| 立木の推定蓄積量 | | ㎥ | 25,190 | 349 | 25,539 |

（2）基　金

基金は河内財産区財政調整基金で、表 4 のとおり令和 7 年度中に 451 万 4 千円増加し、令和 7 年度末現在高は 735 万 1 千円である。

表 4　基金の状況　（単位：千円）

| 区　分 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|
| 河内財産区財政調整基金 | 2,836 | 4,514 | 7,351 |

3　まとめ

令和 7 年度決算を見ると、三重県の補助事業を活用した造林補助事業完了に伴う精算金による諸収入が歳入全体の 93.9 パーセントを占め、財政調整基金残高も増加した。

今後も、新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。

令 和 7 年 度

# 波 瀬 財 産 区 会 計
# 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

## 凡　　例

1　文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。

2　文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

3　文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立法メートル未満を四捨五入した。

4　上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。

5　表中の符号の用法は、次のとおりである。

「0」「0.0」・・・零又は単位未満のもの

「－」・・・・・・比率において、±1,000％以上のもの、該当数値のないもの、又は算出不能なもの

「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

# 令和７年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第１　審査の対象

令和７年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第２　審査の期間

令和８年９月４日から同年10月20日までである。

第３　審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

１　決算の計数は、正確に表示されているか。

２　決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。

３　予算は、適正に執行されているか。

第４　審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

１　歳入歳出決算の状況

歳入決算額は74万５千円（表１参照）、歳出決算額は70万６千円（表２参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

（１）歳　入

歳入の内訳は表１のとおりで、決算額の主なものは、繰入金50万円、財産収入19万７千円である。

表１　歳入内訳表　（単位:千円・%）

| 区分 / 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金 額 | 構成比 | 予算比 | | | | |
| 財 産 収 入 | 196 | 197 | 26.4 | 100.5 | 199 | 29.7 | △ 2 | △ 1.0 |
| 繰　入　金 | 643 | 500 | 67.1 | 77.8 | 400 | 59.6 | 100 | 25.0 |
| 繰　越　金 | 46 | 48 | 6.4 | 104.3 | 71 | 10.6 | △ 23 | △ 32.4 |
| 諸　収　入 | 1 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | - |
| 計 | 886 | 745 | 100.0 | 84.1 | 671 | 100.0 | 74 | 11.0 |

（2）歳　出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 44 万 2 千円、総務費 26 万 4 千円である。

表 2　歳出内訳表　（単位：千円・%）

| 区分 ＼ 予算科目(款) | 令和7年度 | | | | 令和6年度 | | 対前年度決算 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 予算現額 | 決算額 | | | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| | | 金　額 | 構成比 | 執行率 | | | | |
| 議　会　費 | 495 | 442 | 62.6 | 89.3 | 492 | 79.1 | △ 50 | △ 10.2 |
| 総　務　費 | 341 | 264 | 37.4 | 77.4 | 130 | 20.9 | 134 | 103.1 |
| 予　備　費 | 50 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | － |
| 計 | 886 | 706 | 100.0 | 79.7 | 622 | 100.0 | 84 | 13.5 |

2　財産に関する調書

財産の令和 7 年度中の増減高及び令和 7 年度末現在高は、次のとおりである。

（1）公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 7 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 7 年度中に 1,984 立方メートル増加し、令和 7 年度末現在高は 14 万 488 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 7 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3　公有財産の状況

| 区　分 | | | 単位 | 令和6年度末現在高 | 令和7年度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 土地 | 宅地 | | ㎡ | 1,208 | 0 | 1,208 |
| | 雑種地・原野 | | ㎡ | 887 | 0 | 887 |
| | 山林 | 直営 | ㎡ | 1,006,356 | 0 | 1,006,356 |
| | | 貸付 | ㎡ | 1,184 | 0 | 1,184 |
| | 合計 | | ㎡ | 1,009,635 | 0 | 1,009,635 |
| 立木の推定蓄積量 | | | ㎥ | 138,504 | 1,984 | 140,488 |
| 出資による権利 | | | 千円 | 586 | 0 | 586 |

（2）基　金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 7 年度中に 49 万 3 千円減少し、令和 7 年度末現在高は 1,010 万 1 千円である。

表４　基金の状況　　（単位：千円）

| 区　　分 | 令和6年度末現在高 | 令和7度中増減高 | 令和7年度末現在高 |
|---|---|---|---|
| 波瀬財産区財政調整基金 | 10,594 | △ 493 | 10,101 |

３　まとめ

令和７年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 67.1 パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。